



JSEEZ
日本環境動物昆虫学会

第34回日本環境動物昆虫学会 年次大会

<会 期> 2022年11月26日(土)～27日(日)
<会 場> 近畿大学農学部(奈良キャンパス:奈良県奈良市中町3327-204)
<大会委員長> 板倉 修司(近畿大学)

<大会日程>

日 程	時刻	プログラム	
		会場参加・オンライン併用	
11月26日(土)	9:00		
	10:30	理事会・評議員会 218教室 10:30～12:00	
	13:00	一般講演(口頭)	
		A会場(211教室) 13:00～15:30	B会場(311教室) 13:00～15:45
	16:00	活動報告会 (209教室) 優秀発表賞表彰・学会賞奨励賞表彰・受賞講演 17:10～18:10	
11月27日(日)	9:00	一般講演(口頭)	
		A会場(211教室) 9:00～12:15	B会場(311教室) 9:00～12:15
	13:00	市民公開シンポジウム (209教室) 13:00～16:30	

※オンラインのアクセス方法(アドレス)は、前日(11月25日)までにE-mailで参加者に通知します。
前日までにアドレスが届かない場合は、お手数ですが以下の当日窓口にお問い合わせください。

日本環境動物昆虫学会
〒550-0005 大阪市西区西本町1-11-1 Tel・Fax 06(6535)4684
<http://wwwsoc.nii.ac.jp/kandoukon.org/>

当日窓口:大会事務局・近畿大(板倉修司)
Tel: 0742(43)7305
E-mail: itakura@nara.kindai.ac.jp

大会参加費

会員：大会参加費 5,000円 (学生 1,000円)

非会員：大会参加費 7,000円

★10月1日以降は各 1,000円増し

公開シンポジウムのみ参加は無料

なお、納入された大会参加費は参加を取り消されても返却いたしません。

※オンラインでの参加者は、前日(11月25日)までにアクセス方法(アドレス)を通知します。

事前窓口	学会事務局	TEL・FAX	06(6535)4684
		e-mail	r.takagi@f2.dion.ne.jp
当日窓口	大会事務局	TEL	0742(43)7305
		e-mail	itakura@nara.kindai.ac.jp

申込みフォーム <https://bit.ly/3zF3FMn>



11月26日(土)

理事会・評議員会 (10:30~12:00) 218教室

一般講演(口頭発表) (13:00~15:45) 会場参加・オンライン併用 2会場

13時00分~15時45分 一般講演(研究発表)

口頭発表A会場(211教室)ハイフレックス(会場参加・オンライン併用)

B会場(311教室)ハイフレックス(会場参加・オンライン併用)

※賞の投票は11月26日16時まで

日本環境動物昆虫学会 活動報告会(16:10~17:00) <会場参加・オンライン併用>

場所: 209教室(会場参加・オンライン併用)

庶務報告

1. 各委員会報告
2. 日本昆虫科学連合報告
2. 2022年中間決算について
3. 日本昆虫科学連合報告
4. 2022年学会賞・奨励賞受賞者について
5. 2022年中間決算について
6. 2023年年次大会につて
7. 2023年事業計画案について
8. 2023年予算案について
9. 第18期評議員選出について
10. 細則(役員任期追加)改訂について
11. その他

11月27日(日)

一般講演(口頭発表) (9:00~12:15) ハイフレックス(会場参加・オンライン併用)

市民公開シンポジウム (13:00~16:30) 209教室(会場参加)

オンライン参加の方は、講演要旨発送の都合から、11月19日(土)までの事前申込みをお願いします。

当日参加も可能です。以下、大会事務局にお問い合わせください。

事前窓口 学会事務局 TEL・FAX 06(6535)4684 e-mail r.takagi@f2.dion.ne.jp

当日窓口 大会事務局 TEL 0742(43)7305 e-mail itakura@nara.kindai.ac.jp

大会委員長：板倉修司

実行委員：神原広平、澤島拓夫、瀬古祐吾、高倉耕一、早坂大亮、平井規央、森本正則

(五十音・敬称略)

第1日目 11月26日(土) 13:00~17:30 (役員会は10:30~)

時間	内容	会場
10:30~12:00	理事会・評議員会 (対面・オンライン併用)	218教室
13:00~15:45 一般講演 ○:発表者、※:優秀講演発表賞対象者、オンライン発表		
	A会場 (211教室、対面・オンライン併用)	B会場 (311教室、対面・オンライン併用)
	座長: 上田昇平	座長: 森本正則
13:00	A-1 ※○葛西弘、澤島拓夫 (近畿大院・農) 落枝から得られるトビムシ群集の特異性	B-1 ※○牛島健輔、南里空慶、笠井柁希、西嶋優、 弘中満太郎 (石川県立大学応用昆虫学研究室) なぜハネナガイナゴは糞死するのか:道路反射光が誘起する背光反応
13:15	A-2 ※○長野光希 (近大院・農)、平岩将良 (近大農)、 石若直人 (近大院・農)、早坂大亮 (近大農) 温暖化により高まる競争的置換の可能性 -北上種が在来トンボ類に与える影響	B-2 ※○黒田 遼、大窪久美子 (信州大学農学部) 伊那盆地におけるアカガエル科 3種の生息状況と水田の管理方法および立地環境との関係
13:30	A-3 ※○森井清仁、坂本佳子 (国立環境研究所・生物) ニホンミツバチの分蜂回数は増えている?	B-3 ※○石若直人 (近大院・農)、片岡宏太 (近大農)、 ダイワハウス工業 (株)、早坂大亮 (近大農) 投棄されたタバコの吸い殻が植物の発芽と成長におよぼす影響
13:45	A-4 ※○久岡知輝 (滋賀県大院・環境)、松浦 優、 関根颯子 (琉大・熱生研)、本間 淳 (琉球産経、 沖縄県防技セ、琉大・農)、松山隆志 (沖縄県農研セ)、 西田隆義、高倉耕一 (滋賀県大・環境) 沖縄県に侵入したナスミバエの系統:二つの経路からやってきた?	B-4 ※○芳谷昂紀、早坂大亮、澤島拓夫 (近大院・農)、 浅井ひろみ ((株) PRD) ワサビースプレーを用いた樹木穿孔性虫コウモリガの駆除効果
14:00	A-5 ※○橘 啓輔、高倉耕一 (滋賀県大・院・環境) 外来種ムネアカハラビロカマキリのオスによる配偶者探索行動:在来近縁種との違いと繁殖干渉への影響	B-5 ※○江口卓見、早坂大亮、澤島拓夫、浅井ひろみ (近畿大・院・農) アリルイソチオシアネートに対するハイイロゴケグモ幼体の感受性
14:15	休憩 (15分)	
	座長: 澤島拓夫	座長: 瀬古祐吾
14:30	A-6 ※○吉田詞音、大窪久美子 (信州大学農学部) 長野県中南部におけるカミキリムシ科群集の組成と構造	B-6 ※○北野大輔 (滋賀県農業技術振興センター) 滋賀県のネギ属野菜圃場におけるネギアザミウマ2生殖系統の地理的分布と薬剤感受性の差異
14:45	A-7 ※○辻本実穂 (大阪府大院・生命)、上田昇平、 平井規央 (大阪公大院・農) 松尾湿原におけるハッチョウトンボの個体群動態と人工池での繁殖実験	B-7 ※○鈴木諒平、高倉 武、安台梨乃 (アース製薬)、 酒井佳美、神原広平 (森林総合研究所) 家庭用シロアリバイト剤のシロアリ 2種に対する駆除効果
15:00	A-8 ※○片石隆斗 (大阪府大院・生命)、上田昇平、 平井規央 (大阪公大院・農) 大阪府周辺におけるマツヘリカメムシの分布と季節消長	B-8 ※○九鬼奈紀、前田崇彰、猪口佳浩、引土知幸、 小林洋子、川尻由美、中山幸治 (大日本除虫菊) 新規クモ用エアゾールの開発
15:15	A-9 ※○竹田裕生、上田昇平、平井規央 (大阪公大院・農) 野洲川におけるカワラバタの生息環境と個体群動態	B-9 ○森藤泰紀 (近大院・農)、早坂大亮 (近大農) 特定外来生物ソウシチョウのディストレスコールに対する同種他個体の応答
15:30	A-10 ※○尾崎一天 (近畿大農)、古川晶啓 (佐大農)、 澤島拓夫 (近畿農)、湯川淳一 (九大)、Ayman K. Elsayed (佐大農)、 徳田 誠 (佐大農) 日本産幼生生殖タマバエの幼虫形態等を用いたタイプ分け	B-10 ○平岩将良 (近大農)、石若直人 (近大院・農)、 秋山大樹、太田貴生斗、早坂大亮 (近大農) Deep Learning を用いた水田生物群集のモニタリング手法開発の可能性
16:00	優秀講演発表賞の投票締切	
16:10~17:00	活動報告会 (209教室、対面・オンライン併用) 優秀講演発表賞 表彰	
17:10~18:10	学会賞・奨励賞 受賞講演 (209教室、対面・オンライン併用)	

第2日目 11月27日(日) 9:00~12:15

9:00~12:15 一般講演 ○:発表者、オンライン発表

A会場(211教室、対面・オンライン併用)		B会場(311教室、対面・オンライン併用)	
座長:早坂大亮		座長:神原広平	
9:00	A-11 ○中嶋智子(京都府大院・生命環境科学) 京都市伏見区のアルゼンチンアリ生息の現状と課題	B-11 玉垣里菜(北陸先端科学技術大院)、梅澤究、○板倉修司(近畿大農) ヤマトシロアリのmicroRNA機能解析	
9:15	A-12 ○松本和馬 八王子市西部で進行しているムネアカハラビロカマキリの分布拡大とハラビロカマキリの衰退	B-12 戸上泰裕(日本ハムファクトリー(株))、梅澤究、○板倉修司(近畿大院) イエシロアリのmicroRNA機能解析	
9:30	A-13 ○井岡来斗(大阪公大院・農学)、古山 暁((公財)吉野川紀の川源流物語)、平井規央(大阪公大院・農学)、上田昇平(大阪公大院・農学) 外来種ムネアカハラビロカマキリの生息環境と個体群動態	B-13 ○Wikantyo Bramantyo、今井友也、大村和香子(RISH, Kyoto Univ) Morphology and Anatomy of Sensory Organs of the Most Important Pest Termite Genus in Asia, <i>Coptotermes</i> (Isoptera: Rhinotermitidae)	
9:45	A-14 ○長田庸平(大阪市立自然史博物館) 外来種アメリカピンクノメイガ(チョウ目ツトガ科)の分布と幼生形態	B-14 ○Raufelina Febriana, Wakako Ohmura (RISH, Kyoto Univ) Decay and termite resistance of microwave extracts for <i>Toona sinensis</i> (A. Juss)	
10:00	A-15 ○中村寛志(信州大名誉教授)、江田慧子(関西学院大・教育)、那須野雅好(安曇野オオルリシジミ保護対策会議)、萩原正朗(日本自然保護協会) 長野県安曇野におけるオオルリシジミの分布拡大プロジェクト	B-15 ○中野由布妃(鳥取大院・農)、竹松葉子(山口大院・創成科学) イエシロアリの同巢認識メカニズムに関する体表炭化水素	
10:15	A-16 ○江田慧子(関西学院大)、中村寛志(長野県) 絶滅危惧種オオルリシジミを用いた環境教育教材の開発と実践	B-16 ○住岡真穂、築瀬佳之、藤原裕子、澤田豊、藤井義久(京大院・農) イエシロアリの摂食行動に対する木材表層部の硬さの影響	
10:30	休憩(15分)		
座長:平井規央		座長:板倉修司	
10:45	A-17 ○平林公男(信州大)、山本(株)総合水研究所 脱皮殻によるユスリカ相把握の試み	B-17 ○Ni Putu Ratna Ayu Krishanti (RISH/BRIN), Yuki Tobimatsu, Toshiaki Umezawa, Wakako Ohmura, Tsuyoshi Yoshimura (RISH, Kyoto Univ) Study of lignocellulose degradation and structure of gut symbiotic microbiota of death watch beetle, <i>Nicobium hirtum</i> (Coleoptera: Anobiidae)	
11:00	A-18 ○山本悠斐、高倉耕一(滋賀県立大) 近縁なノミゾウムシ属2種はなぜ同所的に同じ寄主植物上で共存できるのか?	B-18 ○森川優希(近大院・農)、瀬古祐吾(国立環境研)、米谷衣代、早坂大亮(近大農) 殺虫剤に曝露した働きアリに対する情報化学物質を介した同種他個体の応答	
11:15	A-19 ○岡本直歩(近大院・農)、平岩将良、早坂大亮(近大農) 夜間照明による開花時期の早期化がもたらす送粉者活動とのミスマッチ	B-19 ○砂村栄力(森林総研)、寺山 守(都立大)・藤巻良太(八丈町)、小野高志(八丈町)、Grzegorz Buczkowski(パデュー大)、江口克之(都立大) 八丈島に侵入したアシジロヒラフシアリに対し有効なハイドロジェルベイト剤の開発と地域一斉防除の効果評価	
11:30	A-20 ○松井啓祐(近畿大院・農)、村瀬駿弥(近畿大・農)、澤島拓夫(近畿大院・農)、井上真紀(東京農工大院・農) 森林害虫マイマイガの色に対する産卵選択性	B-20 ○和久田悦生、後呂玲侍、中島悠祐、森本正則(近畿大農) ヤーコン由来セスキテルペンラクトン誘導体の昆虫摂食阻害活性と食害に対する化学的防御における役割	

11:45	A-21 近藤慎吾 (大阪府立大)、平井規央 (大阪公立大)、○上田昇平 (大阪公立大) 大阪府におけるカシノナガキクイムシ遺伝的二型の分布と季節消長	B-21 ○森川 瞬 (京都リフレ新薬 (株))、森本正則、駒井功一郎 (近畿大農) コパイバオイルを用いた害虫忌避剤の開発
12:00	A-22 ○平岩直道 (大阪公大院・農)、村濱史郎 (日本バードレスキュー協会)、平井規央 (大阪公大院・農)、上田昇平 (大阪公大院・農) ムササビが利用した巣箱内の無脊椎動物群集	B-22 ○鈴木安貴子、菊田さやか、大島 務、引土知幸、川尻由美、中山幸治 (大日本除蟲菊 (株) 中央研究所) カーテン用防虫対策製品の開発

13:00~16:30 市民公開シンポジウム (209教室、対面)

市民公開シンポジウム (対面)

都市と緑と外来生物—増え続ける外来生物に対する適切な管理とは？

総合司会：早坂大亮 (近畿大学・農学部・准教授)

13時00分～13時05分「開会挨拶ならびに開催趣旨説明」

早坂大亮 (近畿大学・農学部・准教授)

【各論：各生物分類群の外来生物の諸問題と取り組み事例】

13時05分～13時30分

「至近に迫る人を刺す外来社会性昆虫！！ヒアリとツマアカスズメバチ」

坂本洋典 氏 (国立環境研究所・生物多様性領域・研究員)

13時30分～13時50分

「近畿でも急速に分布拡大：侵略的外来種アルゼンチンアリの生態と防除」

瀬古祐吾 氏 (国立環境研究所・生物多様性領域・特別研究員)

13時50分～14時15分

「外来不快害虫ヤンバルトサカヤスデの分布・生態情報とまん延対策」

神谷貴文 氏 (静岡県環境衛生科学研究所・環境科学部・主査)

14時15分～14時35分

「外来土壌動物：私たちの足下は外来生物だらけ」

澤島拓夫 氏 (近畿大学・農学部・准教授)

14時35分～15時00分

「アメリカザリガニによる水生昆虫への影響とその防除」

大庭伸也 氏 (長崎大学・人文社会科学域 (教育学系)・准教授)

15時00分～15時25分

「カメは馬鹿にできない～ミシシippアカミミガメとクサガメの現状～」

亀崎直樹 氏 (岡山理科大学・生物地球学部・教授)

【総論：改正外来生物法からみた今後の外来生物管理のあり方について】

15時25分～16時15分

「外来生物対策のこれまでとこれから～2022年外来生物法改正を迎えて」

五箇公一 氏 (国立環境研究所・生物多様性領域・室長)

16時15分～16時30分「質疑応答」

第34回日本環境動物昆虫学会 年次大会 参加申し込み

★既に参加申し込み（参加登録）をしている方は再登録（参加登録）は不要です
年次大会参加申込書

住所 〒 _____

所属（学校名） _____ 氏名 _____

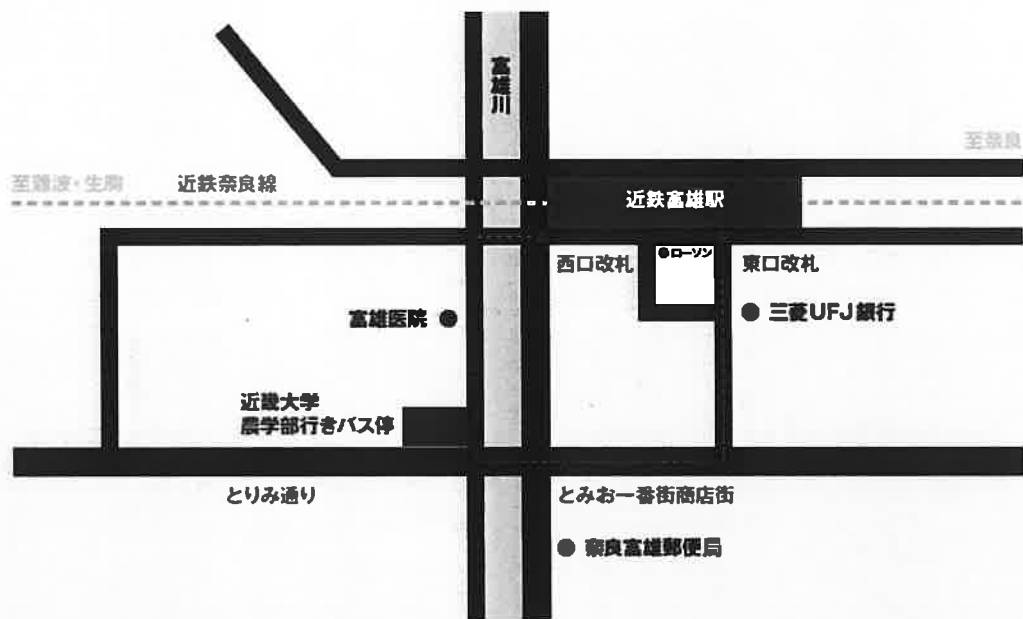
Eメール _____

上記、届けは本会の事務局までメール又はファックスでお送りください。

事前窓口 学会事務局 TEL・FAX 06-6535-4684 Eメール r.takagi@f2.dion.ne.jp

★宿泊の斡旋及び交通手段の手配はいたしませんので、各自手配をお願いします。★昼食も各自用意ください

会場までのご案内 近鉄富雄駅下車 「近畿大学農学部」行きバスで約15分



11月26日（土）バスダイヤ

	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時
富雄発	10・30 40・58	18・38 48・58	08・18 20・58	58	11・28 39・45 58	58	18・28 58	28・58	28・58	35	10・50	28
近大発	23・43 53	13・33 53	13・43	13	13・23 43	18	13・40 55	13・43	13・23 33・43	18・50	25	05・45

11月27日（日）バスダイヤ

	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時
富雄発	15*・30*	10			20					05		
近大発		25			35					00*・20		

*臨時便